

西洋近現代史研究会・現代史研究会 合同例会

報告者:

ゼバスティアン・コンラート 氏
(ベルリン自由大学)

コメント:

森田 直子 氏
(立正大学)

鈴木 楠緒子 氏
(慶應義塾大学経済学部訪問研究員)

日時:2015年1月24日(土)
15時~17時30分

会場:立正大学
品川キャンパス
9号館9B11教室

http://www.ris.ac.jp/introduction/outline_of_university/introduction/shinagawa_campus.html

※地下1階1番目の教室になります。

- 事前申込不要
- 会議言語:日本語・ドイツ語
発表はドイツ語で行われますが、日本語仮訳原稿が配布されます。またコメントは日本語で、討論の際には日独逐語訳が付きまます。
- お問い合わせ: kingenken@gmail.com

ゼバスティアン・コンラート氏は、ポストコロニアル批評、さらにグローバル・ヒストリーの視点から、ドイツ近現代史研究に対して刺激的な問題提起を行い、新しい潮流を生み出してきた一人です。この合同例会では、2012年に *American Historical Review* 誌に掲載された論考“Enlightenment in Global History: A Historiographical Critique”を基に、近年の研究成果の一端をご紹介します。ご関心のある方はぜひ積極的にご参加ください。

グローバル・ヒストリーのなかの啓蒙